

「竹島の日を国の式典にする公約はいつ果たすの？」

●ななしさんからの質問

一部マスコミ（読売）にて、安倍総裁が2月22日の竹島の日を国の式典では行わないのではないかと、という報道がされました。そして、一部の熱心な安倍さん応援団からは「2月22日に国の式典でやるって、公約に書いてるのに！！」（←???）という怒りの声が出てます。

●西田昌司の答え

実は私はこのことについてはよく知りません。しかし、竹島の日を式典を延ばしてもかまわないのではないのでしょうか。西田ビジョン（週刊西田の別のコンテンツ）の城内実さんとの対談でも触れていますが、政治は臨機応変にやっていかなければなりません。特に、外交に関しては相手がいますし、竹島は尖閣と違って、韓国が実効支配を何十年もしています。占領中に李承晩ラインにより一方的に奪われ、実効支配を事実上、認めてしまっています。よって、竹島を取り戻すにはかなりのパワーが必要です。当然、竹島の日も含め、外交的な圧力や決意も大事です。しかし、それらはタイミングよく、臨機応変にやらなければなりません。

韓国では最近、大統領選挙があり、パク・クネ大統領が当選しました。日本でも安倍総理が総裁選挙で勝って安倍政権が誕生しました。どちらも選挙をしたばかりです。韓国人については、非常に感情的に起伏の激しい方が多く、韓国大統領としては、竹島は韓国の領土だと公約せざるを得ない面もあるのでしょうか。そのような立場をとらざるを得ません。このことに日本がいちいち反応して、竹島の日を式典をやっても、ほとんど意味がありません。竹島の問題は、何十年も放置していますから、解決するには時間がかかります。一時の感情で関係を悪化させて、却って本

音の話が出来なくなってしまうえば意味がありません。韓国や中国とは、経済や安全保障等において、お互いに利害が一致する点もあります。このようなことも絡めながら、冷静に話せる環境を作らなければなりません。その時々状況に合わせての判断が必要です。

安倍総理が誕生した背景には、「強い日本を取り戻したい」という期待があって、国民も応援しているのだと思います。しかし、憲法問題もそうですが、安倍総理が誕生したからといっても、一気に解決する問題は一つもありません。竹島の問題に関しても、軍事力、経済力、外交力等の総合的な力が必要です。また韓国民が、竹島は日本の領土だと受け入れられるような状況を作らなければなりません。簡単なことではありませんし、時間がかかります。臨機応変に外交的、経済的手段を使って、またある時には軍事的なパワーをも背景にしながら、ありとあらゆる手段を使わなければなりません。ですから、「時間がかかるのは承知できない。安倍さんは間違っている」と短絡的に考える人には、少し疑問を感じてしまいます。我々の行う政策は、長い時間をかけて実現させるものがほとんどです。今、時間をかけずに早急に行うべきことは経済対策です。デフレを脱却して、国民の所得が増えて、豊かさを実感できる社会を作ることが大事です。韓国経済は今、大変な状況です。日本の経済が復活すれば、経済力を背景に、竹島のカードを使える状況になることも考えられます。よって、まずは安定した政権を築く必要があります。ご理解とご協力をお願いします。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>

